

## 統廃合等検討対象職種の社会的便益に係る 業界団体へのヒアリング項目

平成 29 年度は、「機械木工」職種及び「陶磁器製造」職種の業界団体に対して、ヒアリングを実施する。

### 1 団体・業界の状況について

- (1) 所属企業数（労働者数）の 10 年間の推移
- (2) 所属企業数（労働者数）の業界に占める割合
- (3) 業界の市場規模の変動
- (4) 業界に関する社会情勢の急激な変化等の考慮すべき事項
- (5) その他参考となる事項

### 2 当該職種の技能検定の活用の現状について

- (1) 業界内での受検勧奨状況
- (2) 業界及び傘下企業における技能検定の活用状況
- (3) 業界及び傘下企業における技能士の活用状況
- (4) 業界内の傘下企業における技能士の処遇状況
- (5) 業界内の傘下企業における当該職種の従事者数に占める技能士の割合
- (6) 当該職種の技能検定が国家検定でなくなった場合の、下記観点からの具体的な弊害
  - ① 各業界、傘下企業、労働者の観点から下記の各事項について
    - a 業界内における円滑な技能継承
    - b 業界内における品質水準の確保
    - c 業界内における統一的な技能評価
    - d 企業の能力開発計画における目標設定
    - e 企業内における社員教育
    - f 企業の若年技能者の確保・定着
    - g 労働者及びその雇用企業に対する、技能士現場常駐制度等の制度上の技能士優遇措置
    - h 労働者の技能者としての自信の形成
    - i 労働者の技能者としてのキャリア形成
  - ② 国家の安心・安全確保等の観点から下記の各事項について
    - a 消費者の生活における安心・信頼確保
    - b 国家の将来的な伝統産業振興
    - c 国家の将来的な国際競争力・技術力維持

### 3 当該職種の技能検定の問題点、今後の需要及びそれを見込んだ対策について

- (1) 当該職種の技能検定の受検申請者数が増加しない要因及びその解消見込み
  - ① 当該職種に係る技能を要する対象物の需要の変動
  - ② 当該職種に要する技能の質の変化（自動化等による仕事の変化）
  - ③ 当該職種における若年者の新規参入の程度、従業者数の変動
  - ④ その他考えられる要因
- (2) 当該職種の技能検定の活性化（受検者数増加のための方策）
  - ① 業界が予定又は検討している具体的取組み
  - ② 上記取組みにより、見込まれる受検者数増加の見込み数
- (3) 団体の当該職種の技能検定実施に係る協力内容
- (4) 都道府県方式での実施が困難となった場合に指定試験機関となる意思の確認
- (5) 職種統合の可能性等について
  - ① 当該職種において重要な技能のうち、他の既存の職種でも活用可能と見料されるもの
  - ② 既存の技能検定職種のうち、必要な技能が共通している職種
  - ③ 当該職種の受検を、代替できる可能性のある他の既存の職種